



三井金属鉱業株式会社(5706)

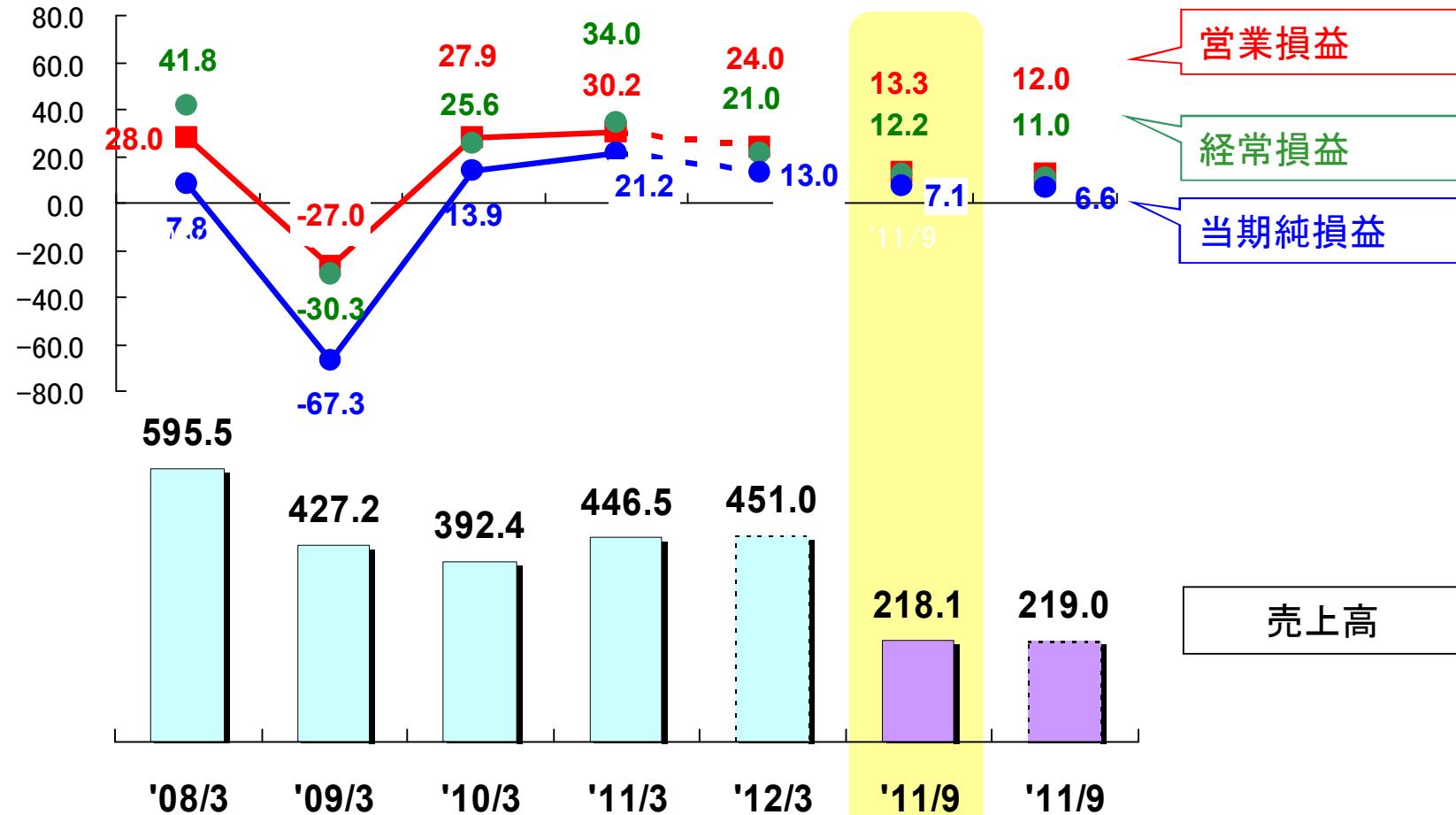
2012年3月期

第2四半期決算説明会

2011年11月14日

売上高・損益

(単位:十億円)



1株当たり配当	12円	0円	3円	6円	未定
連結配当性向	87.8%	-	12.3%	16.2 %	-

(11/9現在予想)

(5/9予想)

経営の概況

■ 第2四半期累計期間決算(前年同期比)

- ・ アジアにおける汎用銅箔などの減販や昨年度の一過性要因剥落により減益

機能材料 : 触媒増販やレアメタル価格上昇等により大幅増益
金属・資源 : 昨年度計上のカセロネス鉱山権益比率変更に伴う利益が剥落
電子材料 : 現地通貨高、アジアにおける汎用銅箔の販売減により減益
自動車機器 : 東日本大震災による自動車生産量減の影響で減益

■ 通期見通し(前回予想比)

- ・ 金属価格の下落や円高に加え、電子材料市場の減速感により減益を見込む

機能材料 : レアメタル上昇等の影響により増益
金属・資源 : 金属価格の下落と円高により大幅減益見込み
電子材料 : アジアの汎用箔は先行き不透明、製造拠点現地通貨高等もあり減益
自動車機器 : タイ洪水の影響が心配されるが、前回予想並みの利益は確保する見通し

■ トピックス

- 【資源】 チリ・カセロネス銅鉱山はOn Scheduleで開発中。亜鉛もペルー、カナダで探鉱中
【環境】 触媒:新興国における二輪車の伸びとともに着実に成長
【エネルギー】 電池材料:LiB用正極材料新工場は計画通り来年4月に量産開始予定
【リサイクル】 レアアースリサイクル量産化、新規リサイクル設備設置中
【その他】 マイクロシン:スマートホンの伸びに合わせるように成長

セグメント別経常利益

(対前年同期比、億円)

2010年上期

2011年上期

(152)

(122)

主な増減要因

■ 自動車機器

20

■ 東日本大震災による減販

■ 素材関連

29

■ 薄膜材料在庫要因等

■ 電子材料

48

■ 現地通貨高、アジアの汎用銅箔減販

■ 金属・資源

41

■ 昨年度計上のカセロネス鉱山権益比率
変更による利益剥落

■ 機能材料

31

■ 触媒増販、レアメタル価格上昇

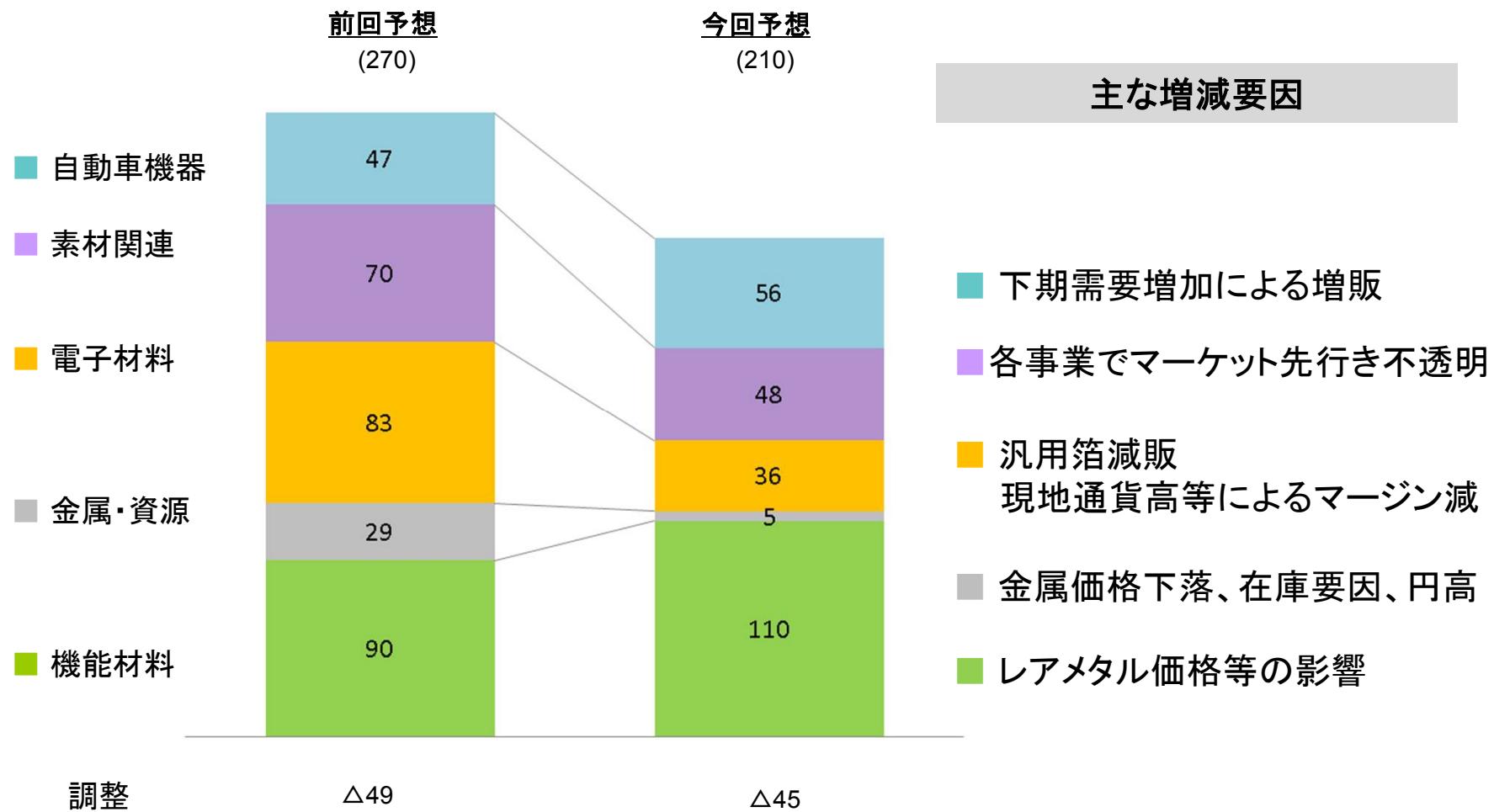
調整

△16

△20

セグメント別経常利益

(対前回予想比、億円)



銅・亜鉛鉱山【資源】

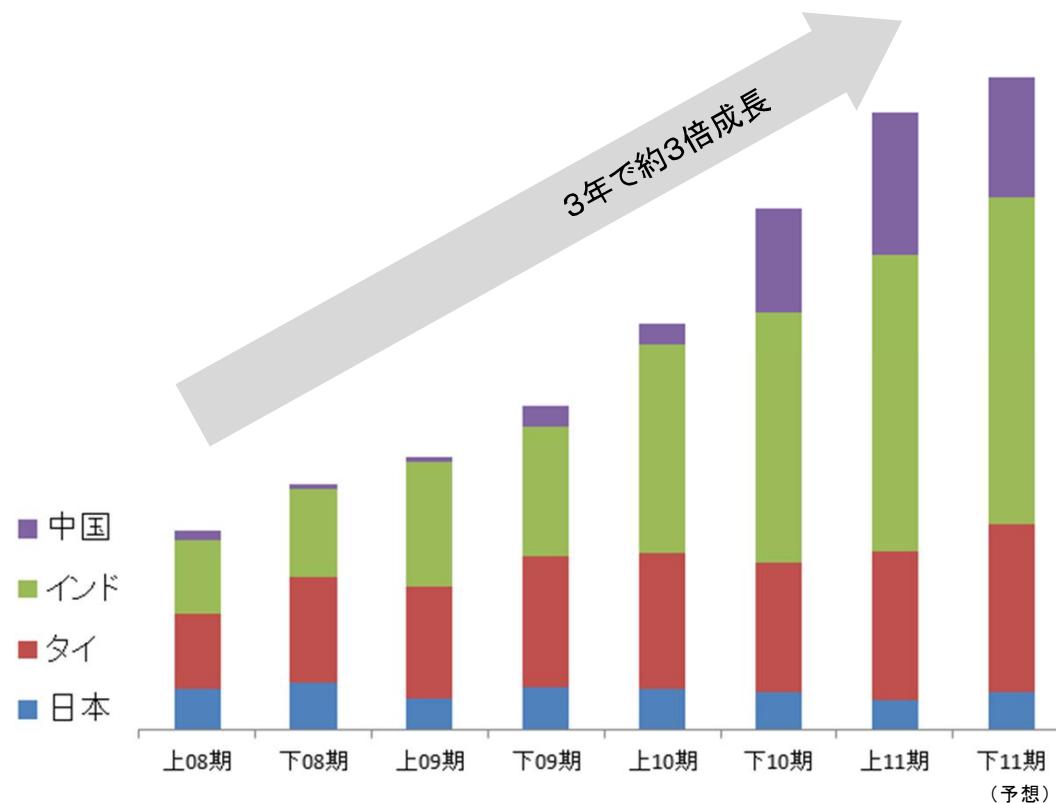
チリ・カセロネス銅鉱山はOn Scheduleで開発中。亜鉛もペルー、カナダで探鉱中

カセロネス銅鉱山(チリ)																											
権益取得年月	2006年5月																										
権益取得金額	137百万ドル	開発中	2013年操業開始																								
生産期間	2013年～2040年(28年間)																										
SX-EW電気銅 銅精鉱	2013年1月～ 2013年9月～																										
生産計画																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>当初5年間</th><th>28年平均</th><th>28年合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>銅</td><td>精鉱(銅量)</td><td>15万トン/年</td><td>11万トン/年</td><td>314万トン</td></tr> <tr> <td></td><td>SX-EW電気銅</td><td>3万トン/年</td><td>1万トン/年</td><td>41万トン</td></tr> <tr> <td></td><td>合計</td><td>18万トン/年</td><td>12万トン/年</td><td>355万トン</td></tr> <tr> <td colspan="2">モリブデン</td><td>3千トン/年</td><td>3千トン/年</td><td>87千トン</td></tr> </tbody> </table>					当初5年間	28年平均	28年合計	銅	精鉱(銅量)	15万トン/年	11万トン/年	314万トン		SX-EW電気銅	3万トン/年	1万トン/年	41万トン		合計	18万トン/年	12万トン/年	355万トン	モリブデン		3千トン/年	3千トン/年	87千トン
	当初5年間	28年平均	28年合計																								
銅	精鉱(銅量)	15万トン/年	11万トン/年	314万トン																							
	SX-EW電気銅	3万トン/年	1万トン/年	41万トン																							
	合計	18万トン/年	12万トン/年	355万トン																							
モリブデン		3千トン/年	3千トン/年	87千トン																							
開発投資額	約20億ドル(生産設備等初期投資額)																										
権益比率	パンパシフィック・カッパー(PPC) 75% 三井物産 25%																										

触媒【環境】

新興国における二輪車の伸びとともに着実に成長

当社拠点別触媒販売数量推移



3年で約3倍成長

2014年～
インドネシア
ベトナム
二輪排ガス
規制強化

二輪車需要は
中国、インド、
ASEAN各国で
毎年5～10%の
成長

電池材料【エネルギー】

LiB用正極材料新工場は計画通り来年4月に量産開始予定

リチウムイオン二次電池用マンガン系正極材料新工場進捗状況



設置場所 当社竹原製煉所
(広島県竹原市)

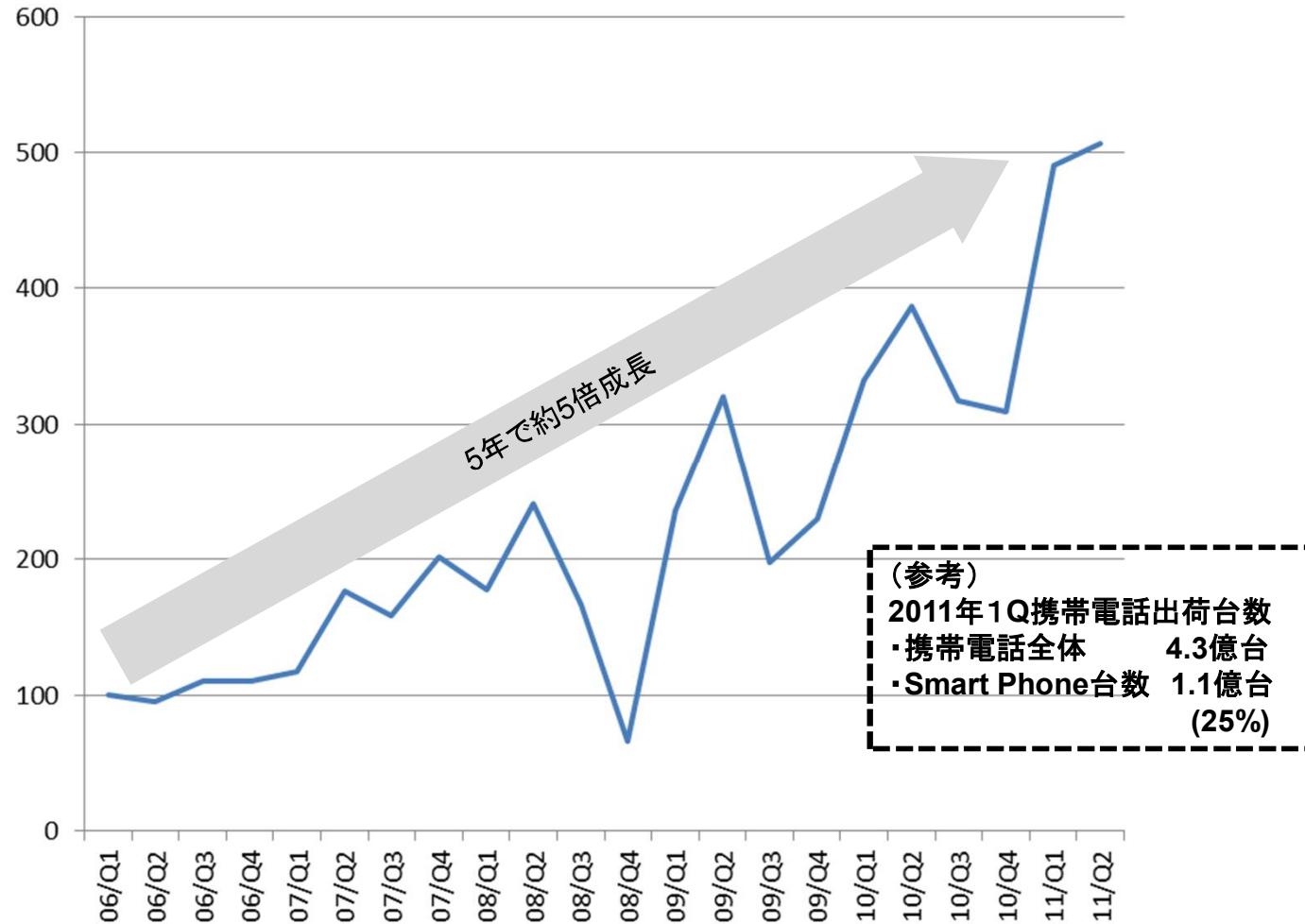
投資額 約70億円

設備能力 年産 12,000トン

高機能銅箔【その他】

スマートホンの伸びに合わせるように成長

マイクロシン販売量（2006年Q1を100とした場合の推移）





損益計算書

三井金属

(十億円)	第2四半期累計期間			通期				
	'11/Q1-2	'10/Q1-2	増減	2011 今回予想	2010	増減	2011 5/9予想	増減
売上高	218.1	219.7	-1.5 -0.7%	451.0	446.5	4.5 1.0%	467.0	-16.0 -3.4%
売上原価	185.4	187.0	-1.7 -0.9%	-	376.2	-	-	-
売上総利益	32.8	32.6	0.1 0.4%	-	70.3	-	-	-
販売費・管理費	19.5	19.5	0.0 0.2%	-	40.1	-	-	-
営業利益	13.3	13.2	0.1 0.9%	24.0	30.2	-6.2 -20.6%	29.0	-5.0 -17.2%
営業外収支	-1.1	2.0	-3.1	-3.0	3.8	-6.8	-2.0	-1.0
経常利益	12.2	15.2	-3.0 -19.7%	21.0	34.0	-13.0 -38.3%	27.0	-6.0 -22.2%
特別損益	-1.8	-0.2	-1.6	-1.8	-4.2	2.4	-1.8	-0.0
税引前利益	10.4	15.0	-4.6 -30.5%	19.2	29.8	-10.6 -35.6%	25.2	-6.0 -24.0%
税金費用・少数株主利益	3.3	3.7	-0.4	6.2	8.6	-2.5	7.7	-1.5
当期純利益	7.1	11.3	-4.2 -36.8%	13.0	21.2	-8.2 -38.6%	17.5	-4.5 -25.7%



三井金属

事業セグメント別内訳 (十億円)

	上期			下期			通期		
	2010	2011	増減	2010	2011 (予想)	増減	2010	2011 (予想)	増減
■売上高									
機能材料	19.7	30.1	10.4 52.7%	25.9	34.2	8.2 31.7%	45.7	64.3	18.6 40.8%
金属・資源	70.6	68.6	-2.0 -2.8%	77.6	76.1	-1.6 -2.0%	148.3	144.7	-3.6 -2.4%
電子材料	41.1	47.5	6.3 15.3%	41.6	42.5	1.0 2.3%	82.7	90.0	7.3 8.8%
素材関連	73.4	70.4	-3.0 -4.1%	72.0	70.6	-1.5 -2.0%	145.4	141.0	-4.4 -3.0%
自動車機器	45.2	39.8	-5.4 -12.0%	46.0	50.2	4.2 9.1%	91.2	90.0	-1.2 -1.3%
調整額	-30.4	-38.3	-7.9	-36.4	-40.7	-4.3	-66.8	-79.0	-12.2
連結	219.7	218.1	-1.5 -0.7%	226.8	232.9	6.1 2.7%	446.5	451.0	4.5 1.0%
■経常利益									
機能材料	3.1	6.5	3.4 109.0%	5.4	4.5	-0.9 -16.6%	8.5	11.0	2.5 29.0%
金属・資源	4.1	1.0	-3.1 -75.6%	7.9	-0.5	-8.4	12.0	0.5	-11.5 -95.8%
電子材料	4.8	2.0	-2.8 -58.4%	3.4	1.6	-1.8 -52.6%	8.2	3.6	-4.6 -56.0%
素材関連	2.9	3.4	0.5 16.1%	2.3	1.4	-0.8 -36.9%	5.2	4.8	-0.4 -7.1%
自動車機器	2.0	1.4	-0.5 -27.9%	3.3	4.2	0.9 26.0%	5.3	5.6	0.3 5.9%
調整額	-1.6	-2.0	-0.4	-3.5	-2.5	1.1	-5.1	-4.5	0.6
連結	15.2	12.2	-3.0 -19.7%	18.8	8.8	-10.0 -53.3%	34.0	21.0	-13.0 -38.3%



三井金属

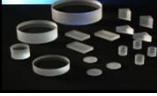
四半期売上高および利益推移（十億円）

	'10/Q1	'10/Q2	'10/Q3	'10/Q4	'11/Q1	'11/Q2	Q2増減 (前年比)	Q2増減 (前Q比)	'10/Q1-2	'11/Q1-2	増減
■売上高											
機能材料	10.1	9.6	12.0	14.0	13.7	16.4	6.8	2.7	19.7	30.1	10.4
金属・資源	37.6	33.0	41.8	35.8	38.0	30.7	-2.4	-7.3	70.6	68.6	-2.0
電子材料	20.2	20.9	19.6	22.0	24.2	23.3	2.3	-0.9	41.1	47.5	6.3
素材関連	39.5	33.9	34.0	38.0	34.7	35.7	1.8	0.9	73.4	70.4	-3.0
自動車機器	21.3	23.9	24.0	22.0	18.2	21.5	-2.4	3.3	45.2	39.8	-5.4
調整額	-16.6	-13.8	-17.6	-18.8	-24.6	-13.7	0.1	10.9	-30.4	-38.3	-7.9
連結	112.1	107.6	113.9	112.9	104.3	113.8	6.2	9.5	219.7	218.1	-1.5
■営業利益 [a]											
（うち棚卸資産在庫要因 [b]）	7.1	6.1	9.5	7.5	7.8	5.5	-0.7	-2.4	13.2	13.3	0.1
	(-1.2)	(0.0)	(2.1)	(0.5)	(0.7)	(-1.4)	(-1.4)	(-2.1)	(-1.2)	(-0.7)	(0.5)
[a] -[b]	(8.3)	(6.1)	(7.4)	(7.0)	(7.1)	(6.9)	(0.7)	(-0.3)	(14.4)	(14.0)	(-0.4)
■経常利益											
機能材料	1.8	1.3	2.6	2.8	3.0	3.4	2.1	0.4	3.1	6.5	3.4
金属・資源	2.0	2.1	5.7	2.2	1.0	-0.0	-2.1	-1.0	4.1	1.0	-3.1
電子材料	2.7	2.1	1.7	1.7	1.7	0.3	-1.8	-1.4	4.8	2.0	-2.8
素材関連	2.0	0.9	-0.1	2.3	2.3	1.0	0.1	-1.3	2.9	3.4	0.5
自動車機器	0.8	1.2	1.8	1.5	0.7	0.7	-0.5	-0.0	2.0	1.4	-0.5
調整額	-0.4	-1.3	-1.2	-2.3	-1.4	-0.6	0.6	0.8	-1.6	-2.0	-0.4
連結 [a]	8.9	6.3	10.5	8.3	7.4	4.9	-1.5	-2.5	15.2	12.2	-3.0
■当期純利益											
	6.6	4.7	8.6	1.2	4.3	2.8	-1.9	-1.5	11.3	7.1	-4.2

主要セグメントの業績(1)機能材料

(単位:十億円)

	'10/Q1-2	'11/Q1-2	増減	'10/Q3-4	'11/Q3-4 (予想)	増減	'10/通期	'11/通期 (予想)	増減
■売上高	19.7	30.1	10.4	25.9	34.2	8.2	45.7	64.3	18.6
■経常利益	3.1	6.5	3.4	5.4	4.5	-0.9	8.5	11.0	2.5
売上高経常利益率	16%	21%	6%	21%	13%	-8%	19%	17%	-2%

(機能材料製品)	(主な用途)
電池材料	
・ハイブリッド車向けニッケル水素電池 ・民生用リチウムイオン電池	
機能粉	
・複写機・プリンター向トナー	
レアメタル化合物	
・フラットパネル、ハードディスク研磨 ・デジタルカメラレンズ	
自動車排ガス用触媒	
・二輪車用排ガス触媒	
単結晶	
・半導体製造装置	

経常利益の増減説明

[’10/Q1-2 → ’11/Q1-2 +34億円]

- ・触媒販売量増。およびレアメタル価格上昇。

[’10/通期 → ’11/通期 +25億円]

- ・触媒の販売量増等により増益。



三井金属

主要セグメントの業績(2)金属・資源

(単位:十億円)

	'10/Q1-2	'11/Q1-2	増減	'10/Q3-4	'11/Q3-4 (予想)	増減	'10/通期	'11/通期 (予想)	増減
■売上高	70.6	68.6	-2.0	77.6	76.1	-1.6	148.3	144.7	-3.6
■経常利益	4.1	1.0	-3.1	7.9	-0.5	-8.4	12.0	0.5	-11.5
売上高経常利益率	6%	1%	-4%	10%	-1%	-11%	8%	0%	-8%

金属価格・為替の推移

(予想)

	'10/Q1-2	'10/Q3-4	'11/Q1-2	'11/Q3-4
亜鉛(LME) \$/t	2,020	2,355	2,240	1,900
亜鉛(ヘッジ後) \$/t	2,070	2,341	2,310	1,965
鉛(LME) \$/t	1,991	2,497	2,510	1,950
銅(LME) ¢ /lb	324	415	412	340
為替 yen/\$	89	82	80	77

経常利益の増減説明(概算)

['10/Q1-2
→'11/Q1-2] ['10/通期
→'11/通期]

相場(亜鉛)・為替	-	-19
T/C条件(亜鉛)	-3	-3
たな卸資産在庫要因	6	-26
コークス価格	-3	-8
持分変動損益	-31	-52
その他	-	-7

2011年度下期損益感応度(経常損益)

合計

-31 億円

-115 億円

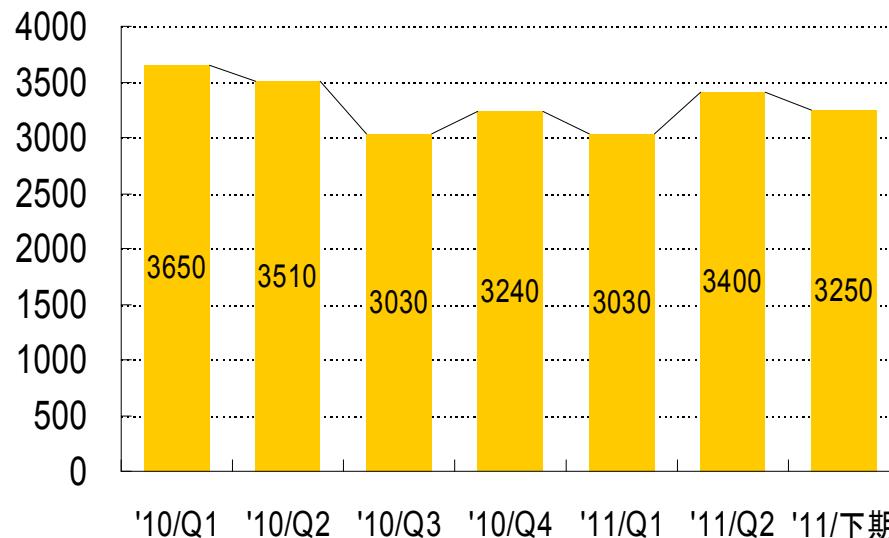
亜鉛(LME) ±100\$/t	± 4億円
鉛(LME) ±100\$/t	± 0.5億円
銅(LME) ±10 ¢ /lb	± 0.3億円
為替 ±1yen/\$	± 1億円

主要セグメントの業績(3)電子材料

(単位:十億円)

	'10/Q1-2	'11/Q1-2	増減	'10/Q3-4	'11/Q3-4 (予想)	増減	'10/通期	'11/通期 (予想)	増減
■売上高	41.1	47.5	6.3	41.6	42.5	1.0	82.7	90.0	7.3
■経常利益	4.8	2.0	-2.8	3.4	1.6	-1.8	8.2	3.6	-4.6
売上高経常利益率	12%	4%	-7%	8%	4%	-4%	10%	4%	-6%

銅箔販売数量 (t/月)



経常利益の増減説明

[’10/Q1-2 → ’11/Q1-2 -28億円]

- ・台湾、マレーシア拠点の現地通貨高、および電力などのコストアップ要因により減益。

[’10/通期 → ’11/通期 -46億円]

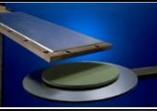
- ・Q1-2と同じ要因で減益。

(11/9現在予想)

主要セグメントの業績(4)素材関連

(単位:十億円)

	'10/Q1-2	'11/Q1-2	増減	'10/Q3-4	'11/Q3-4 (予想)	増減	'10/通期	'11/通期 (予想)	増減
■売上高	73.4	70.4	-3.0	72.0	70.6	-1.5	145.4	141.0	-4.4
■経常利益	2.9	3.4	0.5	2.3	1.4	-0.8	5.2	4.8	-0.4
売上高経常利益率	4%	5%	1%	3%	2%	-1%	4%	3%	0%

(主要素材関連製品)	(主な用途)
薄膜材料	 <ul style="list-style-type: none"> ・フラットパネルディスプレイ
パーライト	 <ul style="list-style-type: none"> ・人口軽量土壤 ・耐火・耐熱用壁材
セラミックス	 <ul style="list-style-type: none"> ・高温炉用耐火断熱材 ・焼成用窯道具 ・溶融アルミニウムろ過装置
ダイカスト	 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品用アルミダイカスト ・デジタル一眼レフカメラ筐体

経常利益の増減説明
['10/Q1-2 → '11/Q1-2 +5億円]
 ・薄膜材料在庫要因等により増益。

主要セグメントの業績(5)自動車機器

(単位:十億円)

	'10/Q1-2	'11/Q1-2	増減	'10/Q3-4	'11/Q3-4 (予想)	増減	'10/通期	'11/通期 (予想)	増減
■売上高	45.2	39.8	-5.4	46.0	50.2	4.2	91.2	90.0	-1.2
■経常利益	1.9	1.4	-0.5	3.4	4.2	0.8	5.3	5.6	0.3
売上高経常利益率	4%	4%	-1%	7%	8%	1%	6%	6%	0%

経常利益の増減説明

[’10/Q1-2 → ’11/Q1-2 -5億円]

- ・震災影響により減益。

[’10/通期 → ’11/通期 +3億円]

- ・日系自動車メーカー増産による需要拡大影響により増益。

営業外・特別損益

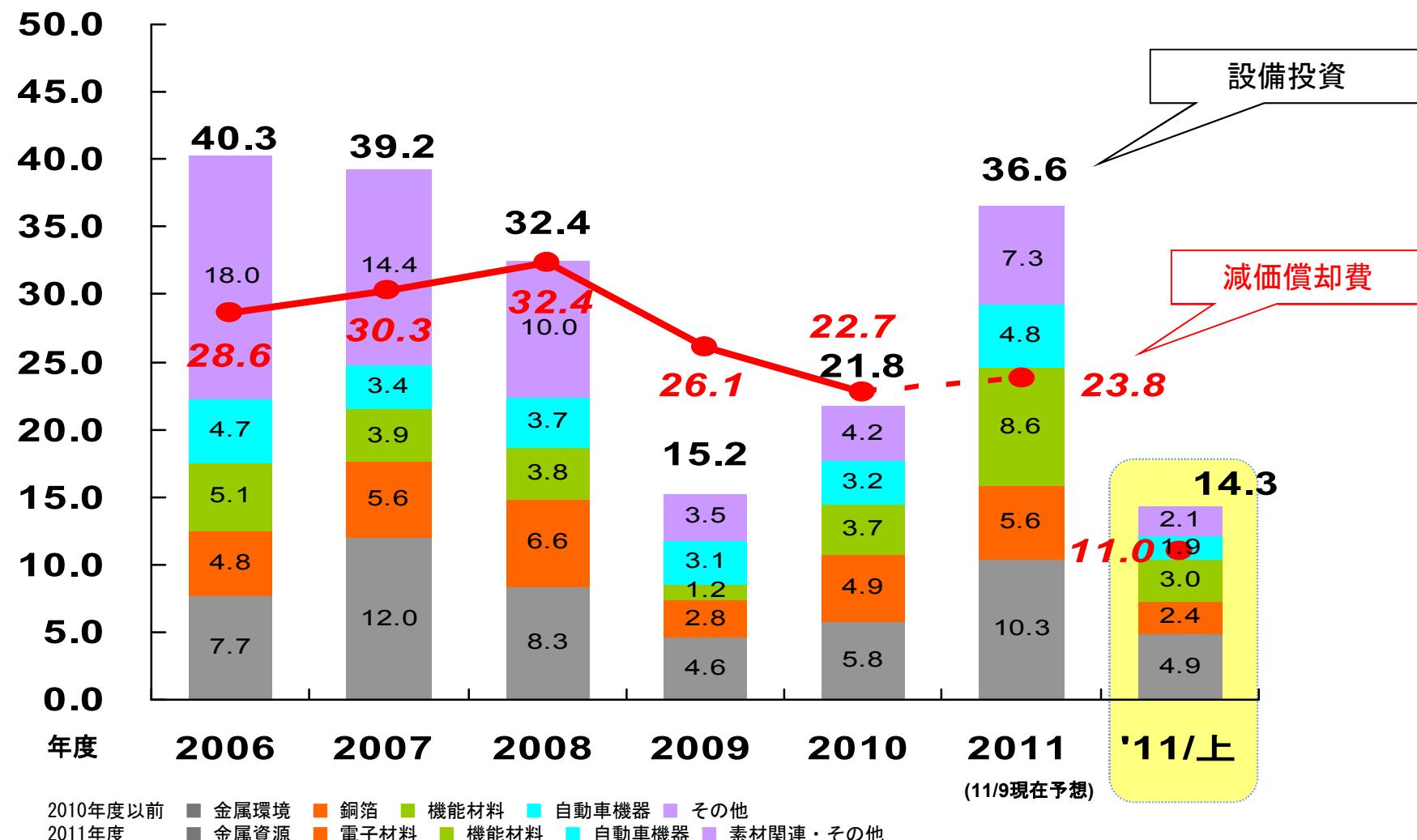
(単位:十億円)

	実 績			通 期				
	'11/Q1-2	'10/Q1-2	増減	2011 今回予想	2010	増減	2011 前回予想	増減
金利収支	-1.3	-1.4	0.0	-2.7	-2.6	-0.1	-2.8	0.1
受取配当金	1.0	1.2	-0.2	1.5	1.6	-0.1	0.7	0.9
持分法投資損益	-0.2	2.9	-3.1	-0.2	5.6	-5.8	1.5	-1.8
銅価格(¢/ポンド)	(412 ¢)	(324 ¢)	(88 ¢)	(376 ¢)	(369 ¢)	(7 ¢)	(380 ¢)	(-4 ¢)
亜鉛価格 (\$/t)	(\$2,240)	(\$2,020)	(\$220)	(\$2,070)	(\$2,187)	(-\$117)	(\$2,200)	(-\$130)
その他	-0.6	-0.8	0.2	-1.0	-0.7	-0.3	-1.4	0.3
営業外損益 計	-1.1	2.0	-3.1	-2.5	3.8	-6.3	-2.0	-0.5
投資有価証券評価損	-0.1	-0.1	-0.0	-0.1		-0.1		-0.1
補償金・賠償金		-0.5	0.5		-0.7	0.7	-0.1	0.1
固定資産除売却	-0.6	-0.4	-0.2	-0.3	-0.8	0.5	-0.2	-0.0
減損損失	-0.1	-0.9	0.8	-0.2	-1.4	1.2	-0.2	0.0
災害損失	-1.2		-1.2	-1.2	-3.2	2.0	-0.8	-0.5
伸銅事業持分変動損益		2.0	-2.0		2.2	-2.2		0.0
事業構造改善費用	-0.0	-0.1	0.0	-0.1	-0.4	0.3	-0.3	0.2
その他	0.3	-0.2	0.5	0.0	0.0	0.0	-0.2	0.2
特別損益 計	-1.8	-0.2	-1.6	-1.8	-4.2	2.4	-1.8	-0.0



三井金属

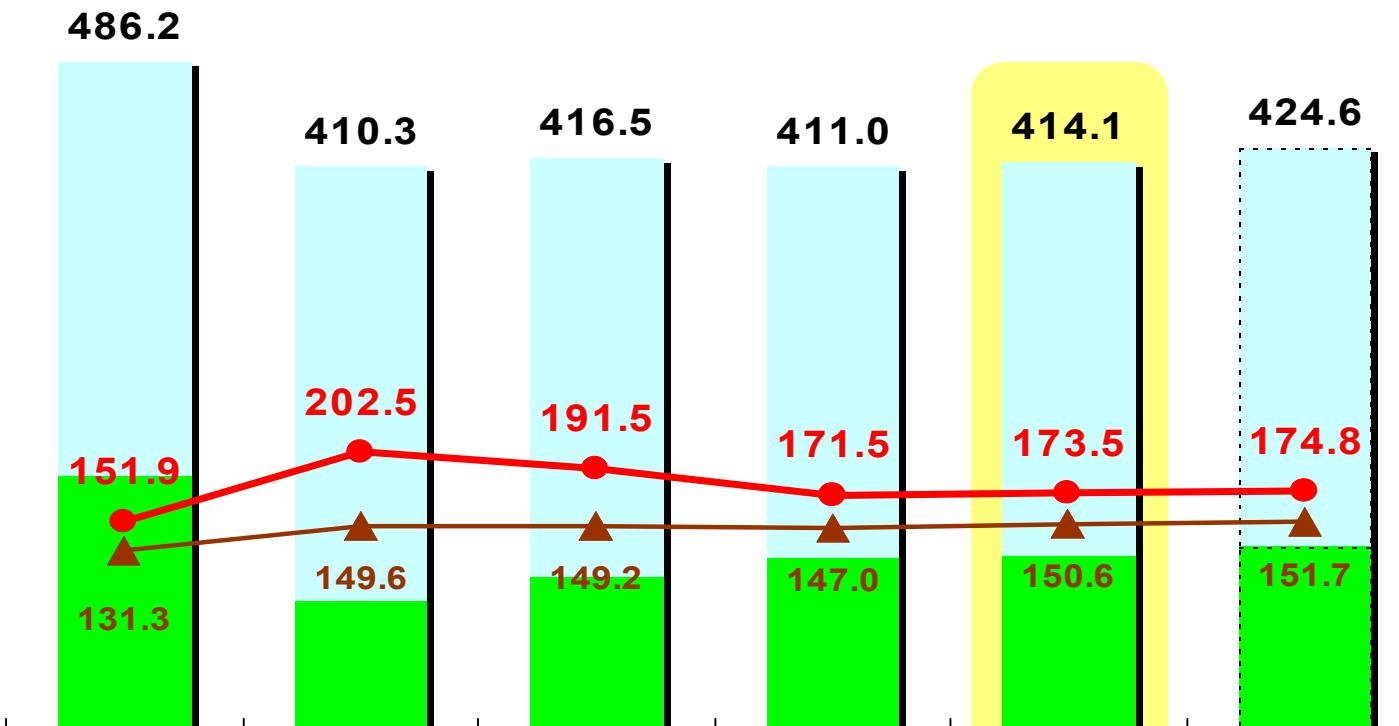
設備投資・減価償却 (十億円)



財政状態

(単位 : 十億円)

総資産	自己資本	有利子負債残高	Net有利子負債残高
-----	------	---------	------------



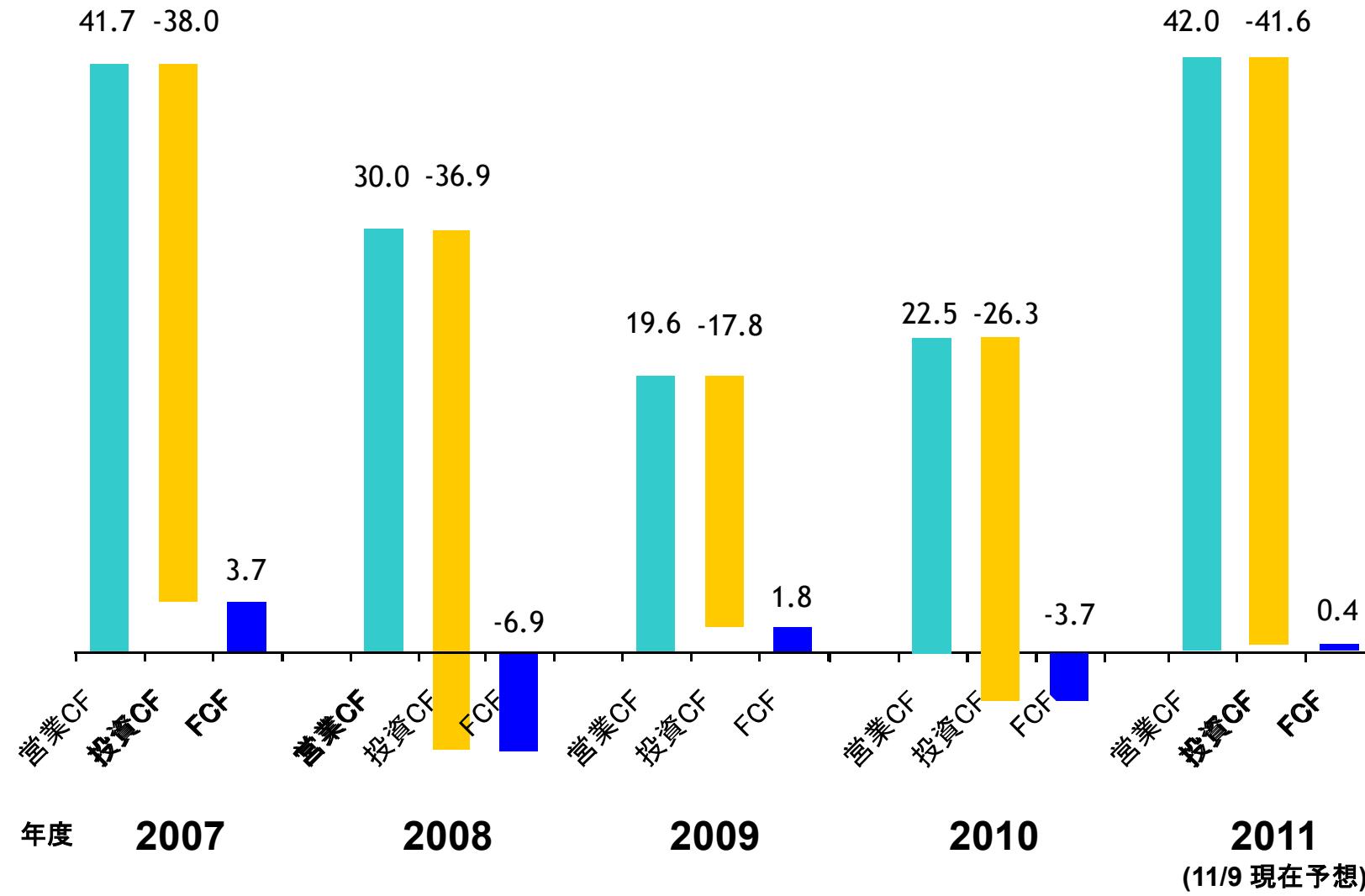
決算期	'08/3	'09/3	'10/3	'11/3	'11/9	'12/3
D/E レシオ	0.82	2.15	1.72	1.36	1.36	1.31
D/E レシオ(net)*	0.71	1.59	1.34	1.17	1.18	1.13
自己資本比率	38%	23%	27%	31%	31%	31%

* Net 有利子負債/自己資本

(11/9現在予想)

キャッシュフロー (1)

(単位 : 十億円)



キャッシュフロー(2)

(単位：十億円)

	'10/Q1-2	'10/Q3-4	'11/Q1-2	Q1-2増減 (前年比)	Q2増減 (前Q比)	'10/通期	'11/通期 (予想)	増減
■ 営業キャッシュフロー	7.8	14.7	12.8	5.0	-1.9	22.5	42.0	19.5
■ 投資キャッシュフロー	-8.7	-17.6	-13.6	-4.9	4.0	-26.3	-41.6	-15.3
■ フリー・キャッシュフロー	-0.8	-2.9	-0.8	0.0	2.1	-3.7	0.4	4.1

将来の見通しに関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、様々な既存のリスク、未知のリスク、不確定要因等を伴っているため、実際の事業環境・事業活動は、これらによる影響を受けることとなります。したがいまして、将来の見通しに関する記述内容またはそれによって示唆されている内容が、実際に生じる結果と大きく異なる可能性もあります。

本資料は、将来の見通しに関する記述の中で使用されている目標、想定、期待、予測、計画、評価等の情報が正確である、または将来その通りになるということを、当社が保証したものではありません。

将来の見通しに影響を与える潜在的リスクや不確定要因については、当社の有価証券報告書またはホームページの「事業等のリスク」の項目に記載されておりますが、潜在的リスクや不確定要因がその項目ですべて網羅されている訳ではありませんので、その旨ご留意ください。

本資料は、株主・投資家等の皆様に、当社の経営方針・経営情報等をよりよくご理解いただくことを目的として作成しており、当社の株式の購入・売却など、株式等の投資を勧誘することを目的としたものではありません。したがいまして、皆様が実際に投資なさる際には、本情報に全面的に依拠して判断を下すのではなく、あくまでご自身で投資の可否をご判断くださいますよう、お願いいたします。